

監督	富澤 明	コーチ	池田浩三	<h1>弓 道</h1>	<b>第263号</b>
主将	木俣録八	副 務	藤原 真		2008. 9. 19
副将	金子哲也		頼政秀幸		NTT東日本東京
主務	河合亮一	部報担当	近藤/藤原		弓道部

## NTT・G弓道連盟 第43回全国大会開催

### 東京支部 10回目の栄冠奪取・・・3連覇を狙うデータ支部を準決勝で撃破、

さる9月13・14日両日、第43回NTTグループ弓道連盟主催の全国弓道大会が東京支部・データ支部の共同主催により明治神宮至誠道館第2弓道場において盛大に開催された。大会には全国12支部118名の弓友が参集した。東京支部からは富澤監督以下17名が参加した。またNTT東京弓道部員で他支部所属の11名も参加した。

初日13日は14時から役員総会を開催、引き続き監督者会議を開催し大会へ向けて注意事項の伝達の後、団体戦トーナメント戦の組み合わせ抽選会で、東京支部は木俣主将率いるドコモ支部と対戦、3連覇を狙うデータ支部は第1試合で信越支部と当たり、東京支部と同山に当たった。

その後18時から新宿歌舞伎町のアシベ会館(忍者屋敷)で恒例の懇親会が開催され、1年ぶりの弓友仲間と弓道関連問答ゲーム(栗田部員の司会進行で)等で友好を深めつつ、明日の大会競技へ向けての健闘を誓いあった。

2日目の14日は8時に集合会場準備にあわただし、8時半から開会式開始後、富澤監督の矢渡に続き、ご来賓の東京都弓道連盟中塚副会長(NTT・G弓連顧問)の祝射を賜ったのち、競技が開始された

午前中の競技は団体戦トーナメントで5名×4射=20射の的中制で行われた。

#### 団体戦の戦況は以下の通り

##### 1回戦

**第1試合**は池田コーチ率いるデータ支部と信越支部の昨年と同じ対戦で幕が開き、1手目データ頼政・高本の連失があり5中に対し信越も5中と踏ん張る。3射目データ5連中で、信越3中と2差で4射目に頼政中てるも続く池田・武田の連失、信越は × と1差に詰められるがデータ高本中り12中とし、信越久保選手×10中の2差となって勝負あり。昨年も12対7でデータの連続勝利であった。

**第2試合**の東京は、1射目 ×× に対し、ドコモも ×× と同中、2射目 ×× に対し ×× 2差に、3射目も連続 ×× で13中とし、ドコモは × と踏ん張るが3差に広がる。4射目東京 ×で14中、ドコモ ×で12中と2差に迫るが、続く川端 ×15中として勝利確定、大落ち富澤外すが16対14で東京勝利。ドコモ14中の敗戦は悔しい……

**第3試合**は昨年3位同士の関西対九州、3射目まで7対4と低調の展開で4射目に入るが2対2の9対6で関西の勝利で終わる。**第4試合**は過去4回優勝の関東と中央の対戦であるが前半1手7対0の大差の関東が9対6で逃げ切る。

##### 2回戦

**第1試合**のデータと四国は昨年も2回戦で対戦、データが15対13で勝利しており、四国はそのリベンジに燃える対戦であるが、1手終了時でデータ6中、四国3中と厳しく、3射目も四国的中上がらず2対2と3中リードのまま、最終射にやっと4連中したが、11対9でまたも四国惜敗、リベンジならず。

**第2試合**は東京対東海であるが、1手終了時7対5で東京2差リード、3射目4対2で東京4差に広げ、そのまま13対9で東京順調に勝利し、準決勝でデータと3連破阻止の対戦に入る。

**第3試合**関西対昨年2位の北海道、3射目まで9対10と緊迫、最終射で関西逆転ならず、11対13で北海道が勝利準決勝に進出。**第4試合**は関東対東北で、前半1手関東4中、東北1中と低調な戦いであったが、後半関東4中=10中とし東北5中としたが残念。関東が準決勝進出す。

##### 準決勝戦

**第1試合**はデータ対東京の部員同士討ちとなる。1射目なんとデータ5連失、東京大前河合失のみ4連中と驚きの展開に。2射目もデータ ×× の3中での的中上がらず、東京は杉山失の4中=8中に纏め、ここで5中差と東京余裕が出た。3射目データ ×× に××と=6中どまり、東京は又も小泉失のみ4中=12中で早々勝利確定し、東京がデータ3連覇阻み、3年ぶり決勝戦に進出す。

**第2試合**は北海道対関東戦は北海道の12中が自中、3・4・5中が共に5中=17中と平均取向の申し、関東0中を8入と奪取、連中決勝進出を成す

##### 決勝戦

いずれも好調の我が東京と昨年まで東京部員だった及川先鋒の北海道。1射目東京5連中に対し北海道3中と出遅れる。2射目も東京5連中=10中と絶好調、北海道は4中=7中と3差に抑え、4射目河合・川端失の3中=13中に留め、北海道は何と2番のみの中=8中の思わぬ5差に広がり、北海道万事休すの展開、最終大前河合の的中で3年ぶりの優勝を決定つける。北海道またも涙……

#### 団体戦 (5人×4射トーナメント戦)

1位	東京支部	河合・杉山・小泉・川端・富澤
2位	北海道支部	及川・岩瀬・小坂・中島・小田
3位	データ支部	頼政・池田・武田・高本・金子
3位	関東支部	樋口・岩田・高柳・広木・久保田

#### 団体戦特別賞

最優秀選手賞:杉山(東京)

敢闘選手賞 : 小泉昌末(東京) :ほか11支部11名

#### 団体戦観戦記

今年は同中競射がなく、全て四ッ矢で勝負が決まり、スムーズに進行されたことで熱戦が展開された。また、的中も一回戦二試合のみが羽分け以下の勝負であったが、その他九試合は羽分け以上の勝利で、近年にない的中での緊迫した戦いの連続で見ごたえがあり感動した。

なお、準決勝戦の北海道支部の17中は過去最高で、優勝した東京支部の通算的中率も過去最高の7割6分超という各回安定した的中で、対戦相手を常にリードし大落ちに勝負回さず(3回留め矢外し)、特に決勝戦での1手全員皆中は圧巻で、他を寄せ付けず完全優勝は見事であった。

#### 個人戦(各自四ッ矢二回=8射的中制)

**男子一部(式段以下14名)**に兼本(ドコモ)が4中2名での優勝決定射詰め競射に敗れ惜しくも2位、新人部員井口(東京)も3中で4人による3-5位遠近競射になったが大きく外し初出場入賞を逸した。同じく新人データの市村部員は1中で初出場の経験満喫。

**男子二部(参段以上60名)**には各支部から部員13名が出場し、1回目皆中に頼政、及川、初出場の栗田、小泉が、連覇狙う木俣部員は3中でつなく、他部員は2中以下でダウン。2回目は金子哲が皆中したが遅し、他は3中以下で5-10位の6中同中9名(部員5名)の遠近競射に。上位は7中4名の射詰め競射となった。部員の遠近競射での入賞は5位に小泉、8位頼政、9位栗田、10位には昨年7月北海道に転勤した及川の4名が入賞

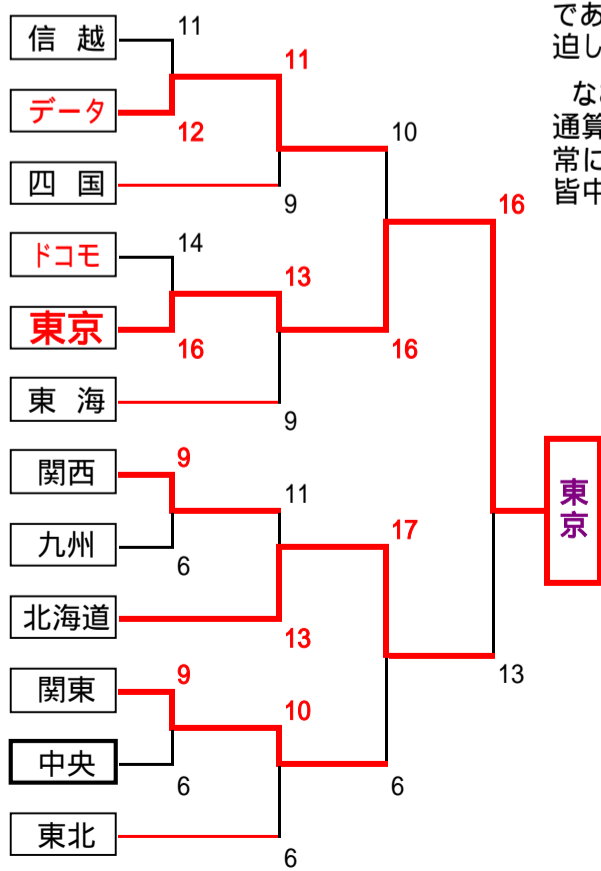
**男子三部(60歳以上23名)**に部員8名が出場し、6中が最高の中となり同中4名(杉山・川端の両部員に中塚顧問そして信越大島選手)で射詰め競射を開始。1本目中塚顧問が外し4位に、続く2射目杉山部員のみの中での初優勝。2位には遠近競射で川端部員が入り1・2フニッシュ。また残り5位には5中の3名(北海道小田選手と、本橋・横瀬両部員)で遠近競射を行い、本橋部員が5位入賞と最終的に4人の入賞を里ます

**女子の部(21名)**に部員3名と、金子部員夫人の4名が出場したが、岡田・熊野・金子部員が3中、初出場の大井部員2中と入賞を逸す。

#### 個人戦(8射的中制)

女子の部	1位	向吉久子(九州) 7中
	2位	栗飯原まきえ(関東) 6中
	3位	朝倉恵美子(関東) 6中
	4位	船津 綾(関西) 5中
	5位	佐藤哉子(中央) 4中
男子1部	1位	藤井啓正(ドコモ) 4中
	2位	兼元京士郎(ドコモ) 4中
	3位	須貝 初(東北) 3中
	4位	滝田和輝(ドコモ) 3中
	5位	飛山泰亮(東北) 3中
男子2部	1位	久保田 等(関東) 7中
	2位	谷口和一(関西) 7中
	3位	名越徳夫(四国) 7中
	4位	船津卓三(関西) 7中
	5位	小泉昌末(東京) 6中
	6位	村上敏行(四国) 6中
	7位	西村洋輝(信越) 6中
	8位	頼政秀幸(データ) 6中
	9位	栗田秀実(東京) 6中
	10位	及川正成(北海道) 6中
男子3部	1位	杉山勝美(東京) 6中
	2位	川端文夫(東京) 6中
	3位	大島勝己(信越) 6中
	4位	中塚祥一郎(顧問) 6中
	5位	本橋秀夫(東京) 5中

#### 団体トーナメント戦



団体戦東京支部戦況		1回戦				2回戦				準決勝戦				決勝戦				中 的中率								
東京	1	河合 亮一				4		x	x	x	1					3				x	3	11	0.6875			
	2	杉山 勝美				x	3		x			3			x		3					4	13	0.8125		
	3	小泉 昌未	x				3	16				x	3	13			x		3	16			x	3	12	0.7500
	4	川端 文夫	x				3				x	3					4				x	3	13	0.8125		
	5	富澤 明				x	3		x			3				x	3					x	3	12	0.7500	
		3	5/8	5/13	3/16			4	3/7	4/11	2/13			4	4/8	4/12	4/16			5	5/10	3/13	3/16		61	0.7625
対戦相手	神代					4			x	x		2	頼政	x			x	2	及川			x		3	13	
	曾我		x			3			x	x		2	池田	x	x			2	岩瀬					4		
	古尾谷	x	x		x	1	14		x	x	x	1	武田	x				3	10	小坂	x		x			2
	飯田	x		x		2			x		x	2	高本	x	x	x		1		中島	x	x	x			1
	木俣					4			x		x	2	金子	x		x		2		小田			x			3
			3	3/6	4/10	4/14			3	2/5	2/7	2/9			0	3/3	3/6	4/10			3	4/7	1/8	5/13		0
		ドコモ支部				東海支部				データ支部				北海道支部												

東京部員他支部団体戦の成績

データ	部員名	中	的中率				
頼政	x x	2	x x	2	x	6	0.5000
池田		x	3	x	x	2	0.5833
武田		x	3		x	3	0.7500
金子	x	x	2	x		3	0.5833
ドコモ	木俣		4			4	1.0000

個人戦成績

部	部員名	中	順位
女子の部	岡田	3	
	大井	2	
	熊野	3	
	金子	3	
男子1部	兼本	4	2位
	市村	1	
男子3部	井口	3	遠近
	保科	2	
	高橋	3	
	杉山	6	1位
	川端	6	2位
	金子武	1	
	本橋	5	5位
	横瀬	5	遠近
	岩田	0	
	中塚師範	6	4位
男子2部	佐藤	2	
	頼政	6	8位
	武田	5	
	小山	0	
	河合	2	
	及川	6	10位
栗田	6	9位	
小泉	6	5位	
木俣	4		
池田	4		
金子哲	6	遠近	
富澤	4		
田中	3		

出場部員の感想

**富澤監督**：部員全員のご協力により、無事大会が成功裏に終了した事に対し主管支部監督として厚く御礼を申し上げたいと思います。東京支部としては役員兼務の中、他支部を圧倒する的中を重ね3年ぶりの優勝を手にする事が出来ました。今後は更なる精進により「正射正中」を目指し、連覇に向け部員全員で頑張りましょう。

**金子競技委員長**：例年、5人団体戦は楽しみにしているのですが、なんとなく全体的にお疲れモードが漂い、兄貴分の東京支部との対戦では、接戦にもつれこませることなく終わってしまったのがやや残念でした。天気にも恵まれ、大きなトラブルもなく全国の皆さんに神宮での競技を楽しんでいただけたので、よかったです。

**杉山最優秀選手賞**：合宿では羽分けにもいかず、足を引っ張るのではと悩んだ末、金曜日の夜、道場に行き忘れていたものを取り戻して自信を回復して臨みました。とにかくお役目放棄状態での結果で恐縮しています。

**小泉敢闘選手賞**：団体戦の初戦は緊張のあまり初矢を大きく右上に抜きました。それから離れが怖くなり、簡単には離せなくなりプレッシャーの連続でした。射形が崩れているのが、残身で感じながらも中てなければと必死でした。とても良い経験をさせて頂きました。個人戦では4つ矢の1回目は皆中・2回目は2本目を抜き、これで今回は終わりというショックが大きいため、3本目は気持ちが抜けて、また連続で抜きました。結果を見ればトップと1本差、最後まで諦めてはいけなさと痛感しました。

**初出場の井口部員**：NTT-G全国大会の大成功、そして団体戦トーナメント優勝が東京と、とても感激しました。自分は初参加で招集掲示委員をやらせて頂きました、掲示板のトーナメント表へ勝者チームを確認し、所属するチームが上へ上へと赤ペンで記入して行く喜びにひたり、また召集と言う役割の大変さも知りました。いろいろと勉強させて頂きました、有難う御座いました。

**初出場の市村部員**：入部早々素晴らしい大会に参加させて頂きありがとうございました。中央道場での試合ならびに運営の立場としての大会への参加。初めてのことで非常に勉強になりました。このように弓友の輪が広がっていくんですね！

**初出場の大井部員**：全国大会に初参加をさせて頂き、開催主管として皆さんが何度も意識合わせをし、準備してきた成果が今ここにあるのだなぁと懇親会が始まって改めて実感致しました。大会も大成功にぁと懇親会が始まって改めて実感致しました。大会も大成功に終わり、団体戦では断トツの優勝を決め、個人戦の活躍も素晴らしいものでした。大会運営も含め、素敵な感動を有難うございました。

東京弓道部員の皆さん、公私わたり多忙の中全国大会に向けて、約1年間かけての準備が成果を結び、大会は無事盛会裏に終了いたし、また役員の方ら競技に参加しただけでなく、好成績を上げられたことに感銘いたしました。部員一丸になれば何事も成し得る貴重な体験をされたことと思います。特に強力なリーダーシップを発揮し、大会を大成功に導いた池田コーチには部員一同感謝感謝の思いでしょう。

この明治神宮中央道場での大会が他支部の弓友にはいい思い出になったことでしょうか。これからも、NTT-G弓道連盟のリーダーシップを東京部員が発揮していかれることを期待しています。  
<弓道部顧問近藤>

地域活動

9月15日(月) 東京都遠的弓道大会 明治神宮至誠館第二弓道場 (頼政報)

参加：男子107名、女子71名 射候：予選8射4中以上による射詰

結果： <男子の部>

頼政	x x x	射詰(79cm的)	x
4位 藤原	x x	射詰(79cm的)	x 遠近
横瀬	x x x	射詰(79cm的)	x
田中	x x	射詰(79cm的)	x
中塚先生	x x x x	x	

<女子の部>

金子美紀 x x x x 射詰(100cm的) x

競技の前に国体選手による演武が行われ、成年男子の藤原頼政両部員、強化選手として演武に参加させて頂きました。

9月14日(月) 関東地域弓道選抜選手権大会 茨城県立武道館弓道場 (藤原報)

参加：東京第1・第2・第3地区・神奈川県・千葉県・茨城県・埼玉県・栃木県・群馬県・山梨県の10弓連

各：有段者5名+称号者5名=10名各自6射的中数+射技採点=総合得点による団体戦&個人戦

結果：団体戦

1位：茨城県 2位：東京第2 3位：東京第3

個人戦

有段者：1位：野土谷(千葉県)6中 2位：大森(東京第2) 3位：高祭(栃木県)

商号者：1位：川崎(東京第3) 2位：佐野(千葉県) 3位：山崎(茨城県)

・有段者の部に出場の藤原部員5中同中5位決定遠近16名競射に敗れ入賞逸す。射技得点666点で6位と頑張る。

今後の予定

9月20日(土) 273回例会 信和館 11時集合

9月27日(土) 関東実業団大会 東京武道館 9時集合

10月5日(日) 東京都実業団 団体戦

都立駒沢公園弓道場 9時集合

NTT東京が幹事企業です。

10月11日(土) 274回例会 信和館 11時集合

全日本実業団大会強化練習あり

10月17日(金) - 19日(日) 全日本実業団大会

明治神宮至誠館第1・第2弓道場